

かけはし

第75号 平成18年7月14日発行
千代田区教育委員会
<http://kyoiku.city.chiyoda.tokyo.jp/>



主な記事

- ★ 子ども読書活動推進計画
- ★ ウェストミンスター生徒との交流
- ★ 千代田区安全・安心メール
- ★ 健康は食育から
- ★ 四番町歴史民俗資料館企画展示のお知らせ

太田姫神社例大祭

5月14日に行われた地域のお祭りに、和太鼓クラブが出演し、力強い太鼓の音を響かせました。(お茶の水小学校)



古紙配合率100%再生紙を使用しています

ウェストミンスター市立学校生徒との交流

千代田区では、区立中学校・中等教育学校生徒海外交流教育として、英国ウェストミンスター市の3つの中学校（ウェストミンスター・シティ・スクール、ザ・グレイ・コート・ホスピタル、セント・オーガスティンズ・スクール）との相互派遣による生徒の交流を行っています。

今年も、5月26日から6月1日までウェストミンスター市の中学生11人と引率の先生方が来日しました。

生徒は、それぞれ千代田区の中学生の家庭にホームステイし、日本の家庭生活を楽しんだりパートナーの通う学校で多くの生徒たちと交流したりしました。

皆日本の文化に大変興味をもってのことで、5月30日の「歓迎レセプション」のスピーチでは、覚えてばかりの日本語を目を輝かせて披露してくれました。また、31日に訪ねた鎌倉では、日本の歴史に思いをはせて神社の参道を歩いたり大仏を様々な角度から観察したり、店の玩具を手を取ったりと、初夏の日差しを浴びながら心ゆくまで古都の散策を楽しみました。

今回来日した生徒は、昨年秋に千代田区の中学生が英国に派遣された時からのパートナーです。両国の生徒たちは、来日前から久しぶりの再会を心待ちにしていました。7日間の交流で一層友情を深めた生徒たちは、心に残る思い出をたくさんつくり、これからも友達であることを固く約束しました。

平成7年度から始まったこの事業も回を重ねるごとに内容の充実が図られてきました。両都市の生徒たちが、交流をきっかけに互いの文化や考え方について理解を深め、国際社会で活躍できる力を付けてほしいと期待しています。

7日間の滞在期間、英国の生徒を温かく迎えお世話くださいましたホストファミリーの皆様へ感謝を申し上げます。

滞在中のウェストミンスター市立学校生徒の活動

5月26日(金) 午後来日	5月29日(月) 学校生活
5月27日(土) ホストファミリーとの家庭生活	5月30日(火) 学校生活、歓迎レセプション参加
5月28日(日) ホストファミリーとの家庭生活	5月31日(水) 校外学習(鎌倉) 6月1日(木) 帰国



琴で「さくらさくら」に挑戦



「歓迎レセプション」にて



鎌倉校外学習で、全員集合

ホストファミリー保護者からの感想

・「異国での経験」を求めて日本行きを決めたパートナーが、日本を好きになってくれたようで、何よりもそれが一番うれしいことです。来日前は不安からあまり歓迎する気持ちではなかった弟たちもすぐに兄のパートナーを大好きになり、別れがたくなりました。私たち家族全員にとってもそれぞれ貴重な体験をした6日間でした。

・パートナーは浴衣を着ることを楽しみにしていましたので、いろいろ情報を集め、祭りが行われる場所を探して、浴衣を着せて祭りに行きました。日本の屋台、たこ焼き、焼きそばなど、どれも気に入った様子で「おいしい」と言って食べてくれました。

・パートナーは日本の食、言葉、習慣を何でも受け入れ体験したいとのことで、大変好感がもてるお子さんでした。親子ともども大変貴重な経験をさせていただきました。パートナーとは今後も交流が続くように努力していきたいと思えます。

・異文化をもつ若者が生活を共にする機会をもつということは実に素晴らしいものです。これからの日本を背負っていく若い世代は、日本の国のすばらしさに誇りを持ち、異文化のよいところを受け入れ、世界の国の人々と対等に渡り合える器量を備えなければなりません。そうした意味からも、この交流活動が今後ますます盛んに行われることを心より期待し、サポートしたいと思います。

千代田区子ども読書活動推進計画を作っています!

子どもの読書活動の推進は、インターネットや携帯電話などの新しいメディア環境が進展する中、逆にますますその重要性が社会的に高まっています。

平成13年に「子ども読書活動の推進に関する法律」が、平成17年にはそれをさらに発展させた「文字・活字文化振興法」が制定されました。それを受けて「東京都子ども読書活動推進計画」など、すべての都道府県で推進計画が公表され、全国の区市町村でもそれぞれの自治体の特色を盛り込んだ推進計画が策定されつつあります。

千代田区は、神田神保町の書店街に代表されるように、日本の出版文化を担ってきたという貴重な伝統を持っています。この伝統を生かし、千代田区における読書活動及び出版文化の振興を図っていくため、「千代田区子ども読書活動推進計画」の策定準備を進めています。

今年度より外部の有識者・出版関係者・公募の区民など12名による懇談会を設置し、検討しています。あわせて、千代田区内の現状を具体的に把握するために、区民を中心に読書活動に関する調査を行い、計画に反映させる予定です。



保護者による「読書タイム」の読み聞かせ(和泉小学校)

【千代田区の特色を生かした計画】

平成17年度の検討会では、読書活動と関わり合いの大きい千代田区の特色として次の4点をまとめています。

- 子どもの読書活動推進を眼目とするが、その環境整備と成果の継続という観点から、青少年・大人の読書活動推進についても配慮する。
- 私立学校や区外の学校に通学する子どももフォローできるように、区立の学校図書館だけに依存せず、児童館や他の社会教育施設との連携による読書活動を推進する。
- 読書活動の促進を通して、本の文化・伝統の発展につながる活動も促進する。
- 読書活動を単独の行為として捉えず、それをとりまく情報・メディア環境改善施策と関連した推進活動を行う。

【親と子の読書活動等に関する調査】

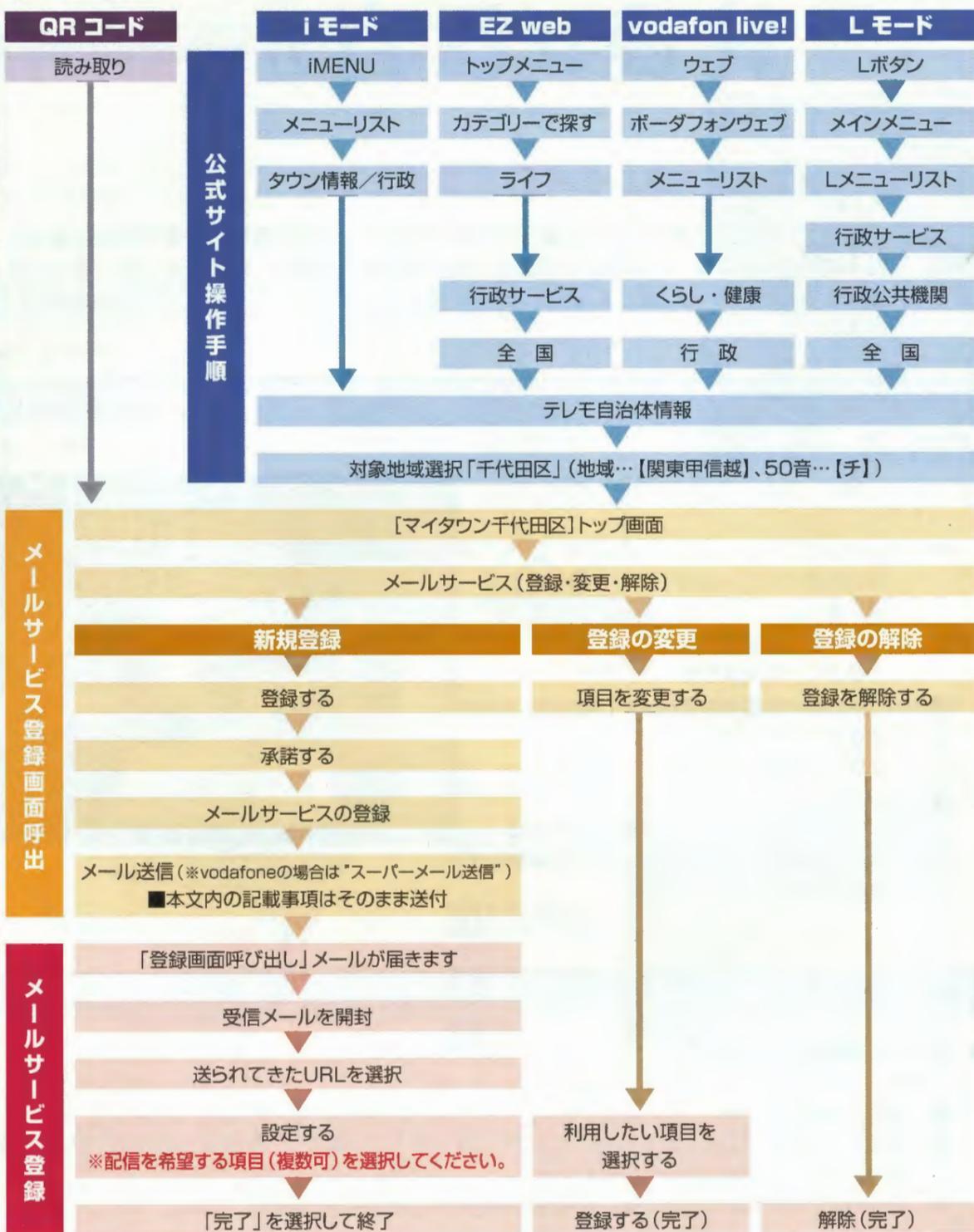
平成17年に文部科学省が、小学生から高校生を対象に読書活動についての全国調査を行いました。(分析結果の一部抜粋)

- 保護者が子どもと書店へ行く回数は月1～2回であり、買い与える本の冊数は0冊が約半数である。
- 読書の好きな保護者の子どもは、読書が好きという傾向が認められる。
- 多くのマンガを所有している児童・生徒は、本も好きでよく読んでいる。
- 図書館が身近にある地域、児童書が充実している図書館がある地域では、児童・生徒および保護者は図書館をよく利用している。

この分析結果からは、現代人の読書活動の一面が見えてきます。さて、千代田区のみなさんにはどのくらいあてはまるのでしょうか。千代田区民を中心とした調査と懇談会での検討を生かして、より効果的な読書活動推進計画の策定を目指します。

問い合わせ 図書文化財課 5211-4289

メールサービス登録・変更・解除手順



メールが届かないときはメールの【指定受信】にmail.telemo-mobile.ne.jp
またはalert@mail.telemo-mobile.ne.jpを受信可能な状態に設定した後に登録してください。
※詳しくはお近くの携帯電話販売店でお尋ねください。

メールサービスご利用にあたってのお願いとご注意

1. メールは通信回線の混雑状況や機種によっては遅れたり届かない場合があります。
2. ご利用されている方が電波の届かない場所にいたり、通話中などの場合は、メールが遅れたり届かない場合があります。
3. メールアドレスを変更する場合は、一度登録を解除して、新規に取得したアドレスで改めて登録を行ってください。
4. 携帯電話の機種によっては、地域設定が必要な場合があります。携帯電話に記載されている手順に従って設定してください。

ご存知ですか! 千代田区安全・安心メール

千代田区では、7月1日から防災無線・不審者情報等を携帯電話にメールで配信しています。

お手持ちの携帯電話にいざという時に役に立つ情報をメールで配信します。
配信する情報は…

- 防災無線のお知らせ…防災無線の情報
(大雨洪水警報、地震警報、光化学スモッグ注意報等)
- 安全・安心情報
 - 不審者等の子どもの安全に関する情報
 - 防災無線で放送されない災害・防災等に関する情報
 - 大規模事故・大規模火災に関する情報

※希望する情報のみ登録することが出来ます。

◎ 利用できる電話機

- 電子メール機能が使用できる下記の携帯電話等
- ・iモード(NTTドコモ)
 - ・EZweb(KDDI)
 - ・vodafoneLive!(vodafone)
 - ・Lモード(NTT)が利用できる固定電話
- ※一部の機種・パソコン・PHSでは利用できません



◎ 利用料

登録時の通信費とメールの受信費(1回につき、2円程度)は、ご負担ください。登録料は無料です

◎ 登録の方法

左表のとおり、携帯電話等を操作して、登録してください。また、QRコードを利用して、操作手順の一部を省略することができます。



QRコード

豊かな食生活を送るために、日頃から心がけましょう

食物の資源を考えましょう

- ◆ 食物がテーブルにのるまでを考え、感謝の心で食卓に向かいましょう。
- ◆ いろいろな食材を食べるようにしましょう。
- ◆ 残さず食べる工夫をしましょう。
- ◆ 残菜の再利用を考えましょう。
 - ・ 他の生物への提供や土に返すなどの工夫をしましょう。



食物の心に与える力を考えましょう

- ◆ 環境を考えた食材を利用しましょう。
- ◆ 食物を大事に扱きましょう。
- ◆ 適度なカロリーをとり、「食」の自己管理をしましょう。
- ◆ 栄養素の偏りに注意し、心のバランスを崩さないようにしましょう。

食事バランスガイド

あなたの食事は大丈夫？



※ 食事のバランスガイドは、食事の望ましい組合せやおおよその量をイラストで示したものです(このイラストの料理・食品例を合わせると、およそ2200Kcal)。1日にとる量の目安の数値〔マ(SV)〕と対応させて、主食、副菜、主菜、牛乳・乳製品、果物ごとに例として料理・食品を示しています。まずは、何が不足し、何をとり過ぎていているか、自分がとっている食事の内容とコマの中の料理を比較してみてください。

家庭と学校が連携し、「食」を通して

子どもたちを大切にはぐくみましょう。

教育研究所では区における教育の充実及び振興を図ることを目的に、教育相談、適応指導教室(白鳥教室)、教育調査、教育に関する研究、資料の収集及び利用、教職員の研修等に関する業務を行っています。

千代田区立教育研究所 神田司町2-16 神田さくら館6・7F ☎ 3256-8446

教育研究所から保護者のみなさまへ

健康は食育から

「食」の今日的課題として

「食」を大切に^{そうしん}する心、栄養バランスの偏った食事や不規則な食事の増加、肥満や生活習慣病の増加、過度の^{そうしん}積身志向、「食」の安全上の問題や「食」の海外への依存、伝統ある「食」文化の喪失などが考えられます。

規則正しい食事で

■ 丈夫な体をつくりましょう

- 暴飲・暴食・夜遅い食事は不健康(肥満)のもとです。
 - ◆ 朝食は必ずとりましょう。
 - ・ 体内時計の正しい活動を助け、脳の働きを高めます。
 - ・ エネルギーの補充は活力を生み出します。
 - ・ 心温まる人間関係を生み出します。
 - ◆ 体によいことを考え、行動しましょう。
 - ・ 適度な運動をしましょう。
 - ・ 必要な栄養素をとりましょう。
 - ◆ ゆっくりよくかんで、食べましょう。
 - ・ 菌のかみ合わせをよくし、栄養の吸収を助け、体の成長を促し、穏やかな人柄を生み出します。



楽しい食事で

■ 団らんの時間を作りましょう。

- 孤食、早食いは、心身の成長を妨げます。
 - ◆ 感謝の気持ちをこめて、「いただきます、ごちそうさま」のあいさつをしましょう。
 - ◆ 食事の礼儀作法(口にもものを入れて話さない、箸の持ち方・置き方、配膳の方法など)を守り、姿勢を正しくして、楽しい食事をしましょう。
 - ◆ 親子の会話の時間は、人との接し方・話し方を学び、穏やかな人柄をつくります。

栄養のバランスがとれた食事で

■ 三大栄養素(蛋白質、炭水化物、脂質)・ビタミン・無機質などをとりましょう

- 栄養の偏りは、知・徳・体のバランスをくずします。
 - ◆ 主食・主菜・副菜をそろえて、バランスの良い食事をとりましょう
 - ◆ 一日三食で多様な食材を摂取するよう心がけましょう。

四番町歴史民俗資料館 企画展のお知らせ

「幕末の歌川派浮世絵展 —三谷家コレクションから—」

神田塗師町（現在の鍛冶町二丁目の一部）に店を構えた金物問屋紀伊屋三谷家八代目の当主長三郎（1819～86）が、弘化頃（1844～48）から明治初期にかけて収集した膨大な浮世絵のうち、三代豊国・国芳・広重を中心に展示します。



三代歌川豊国（前名：国貞）作 「東都両国橋川開繁栄之図」安政5年（1858） 版元：恵比寿屋庄七
大川（隅田川）の川開きは旧暦の5月28日。この日から花火が打ち上げられ、川も両国橋も東西の岸も、涼みの人々で埋まった。

三谷コレクションには、歌川派の絵師による多色摺のものも多く、当時最高峰の木版技術を駆使した初摺の作品ばかりです。また彼は三代豊国のパトロンとしても知られ、日本橋照降町の恵比寿屋庄七を版元とする作品を依頼するなど、幕末の浮世絵の制作に深く関わっています。このような事実は三谷家に残された多数の版下絵・校合摺からもうかがえ、報告書『ある商家の軌跡—紀伊屋三谷家調査報告—』で詳細な分析を行っています。

今回の展示は報告書の成果をもとに、八代目の関与した恵比寿屋版の浮世絵や、三代豊国・国芳・広重の作品を中心に紹介致します。

展示

会 期：平成18年7月30日（日）まで
時 間：午前9時～午後7時
会 場：四番町歴史民俗資料館（四番町1）

※展示解説

担当学芸員がこの展示の内容についてご説明いたします。
歴史民俗資料館1階の展示室入口に5分前までにご集合ください。

日 時：7月15日（土）、19日（水）、28日（金）午後3時～3時45分
人 数：各日 先着15名
受講料：無料

問い合わせ 四番町歴史民俗資料館 電話 (3288)-1139

夏休みは図書館で楽しもう

長い夏休みは本に親しむよい機会！ 家族や友達と一緒に図書館に行ってみませんか

千代田区立図書館 利用案内

図書館はどなたでも自由に利用できます お気軽にご利用ください

千代田図書館ホームページアドレス <http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/>

千代田図書館

所在地 千代田区九段南1-6-11
(5211) 4289・4290 【9:00～17:00】
TEL (5211) 4330 【17:00～19:00】

四番町図書館

所在地 千代田区四番町1
TEL (3239) 6357

昌平まちがど図書館

所在地 千代田区外神田3-4-7
TEL (3251) 5641 (代表)

神田まちがど図書館

所在地 千代田区神田司町2-16
TEL (3256) 6061 (代表)

開館時間

■月～土曜日
午前9時～午後7時

■日曜日・祝日・12月29・30日
午前9時～午後5時
※7・8月は、日曜日・祝日も午後7時
まで開館します。

■日曜日～土曜日
午前9時～午後8時

■12月29日・30日
午前9時～午後5時

休館日

■第4日曜日
■12月31日、1月1日～3日

■第1日曜日
■12月31日、1月1日～3日

■第2日曜日
■12月31日、1月1日～3日

■第3日曜日
■12月31日、1月1日～3日

※四番町図書館小学生図書館員体験 8月16日（水）、17日（木） 募集人員：1日 4人
対象：小学5年生・6年生 詳しくは四番町図書館へ

※夏休み宿題相談 千代田図書館、四番町図書館で自由研究の材料探し等のお手伝いをします。
7月21日（金）～8月31日（木）：午前9時～午後5時（休館日を除く）

千代田図書館夏休み宿題相談コーナー



千代田図書館児童コーナー



ワールドカップ特集

場所：千代田図書館 1階特集コーナー
期間：7月21日（金）～8月30日（水）
FIFA2006 ドイツ・ワールドカップが閉幕しました。開催国ドイツと優勝国を中心とした資料を揃えました。スポーツを通して世界の文化に触れてみませんか？

「生きる」

場所：千代田図書館 2階展示コーナー 期間：7月20日（木）～8月31日（木）
毎日のように事件のニュースが流れ、「生きる」ということの意味が希薄に感じられるようになってしまった昨今ですが、命はそんなに軽いものではありません。難病と闘いながらも前向きに生きる人や、それを支える人の本などをご用意しました。命の尊さ、健康でいられることのありがたさ、そして生きることがどんなに素晴らしいことかを改めて考えてみませんか？



7月までの出来事



▲富士見幼稚園…園庭で「みどりの日のガーデンパーティー」親子で楽しみました



▲いずみこども園…もも組（3歳児クラス）になって、みんなで食べるはじめての給食！今日のメニューは何かな？おいしいね！



▲番町小学校…なかよし給食会「校長先生も一緒に！」



▲お茶の水小学校…「全校遠足」（5月2日）途中から雨が降り出して残念でしたが、1年生から6年生まで仲良く協力して過ごしました。



▲和泉小学校…ビッグバンドによる「ふれあいコンサート」児童のみならず、こども園の園児や地域の方との交流も



▲麴町中学校…3年生の修学旅行 京都の料亭「東観荘」での昼食 少々緊張しながらも、楽しいひとときでした。

ちよだ まちかど見守り隊 活動情報

子どもの安全・安心対策の取り組みとして、小学校ごとに定めた通学路上の見守りスポットにおいて、下校時に合わせ、保護者と地域の方々が子どもたちを見守る活動が、全小学校で開始されました。



▲町会による見守り隊（富士見小）信号をよく確認してね！



▲保護者による見守り隊（番町小）寄り道しないで帰りましょう！



▲保護者による見守り隊（麴町小）四つ角は車に気をつけて！



▲保護者と町会の方がいっしょに見守り隊（千代田小）元気よく、こんにちは！



▲保護者による見守り隊（昌平小）巡回パトロールで通学路を確認しました。



▲学生ボランティアによる見守り隊（富士見小）お兄さん・お姉さんの顔をはやく覚えてね！

随想

きょういく

学区域にある靖国神社の紫陽花の色が一段と鮮やかさを増すと「みたままつり」の準備が始まります。小学生時代の昭和三〇年代、緑日や夜店で楽しく遊んだ記憶が蘇ります。

今、「昭和の時代」、特に「昭和三〇年代」が、日本中で注目されています。三〇年代を舞台にした映画「ALWAYS 三丁目の夕日」が大ヒットとなり、ブルーリボン賞をはじめ数々の映画賞を獲得しています。少し前からは、昭和の街並みを再現した場所に観光客が押し寄せたり、昭和の生活をテーマとした資料館が多く造られたり、お台場のビルの中に昭和三〇年代の商店街を再現した所が、今の若者にも大人気となったりしました。また、当時、子どもたちがわくわくしながら開けた、おまけ付きの鉛の復刻版食玩が、大人たちの間で再びブームになったのも最近です。

このような動きの背景には、バブル崩壊後の先の見えない不況や人との関わりを大切にしない道徳性の欠如などからくる社会の閉塞感や沈滞感があり、昭和三〇年代の大きな夢を持ち生き生きと生活していた時代の活力を求める気持ちがあるのだと思います。

私達の生活は、特に昭和三〇年代に大きく変化しました。テレビ、冷蔵庫、洗濯機の「三種の神器」が、広く家庭に普及し、薄暗い裸電球から明るい蛍光灯が世の中を照らした時代です。世界に負けない経済力を付けるため、科学技術や工業技術の発展・向上にも力



千代田区立富士見小学校長
昌子正夫

を入れた時代です。

当時、小学校、中学校生活を過ごした私たち団塊の世代は、今、思うと礼儀や体力、根性や忍耐力を徹底して育てられました。ガキ大将を中心にも異なる年齢の仲間と遊ぶ中で、人との関わり方を身をもって学びました。善悪

の区別も親や街の人、先生から同じように徹底して教えられました。忘れ物にしても届けてくれる家庭など一軒もなく、そつと貸してくれた友達の有り難さを知りました。遊びも仲間と工夫したり、工作も板切れを切り削り、苦勞して作ったりしたものでした。

先日、国会議員の皆様方から頂いた「戦後六〇年、日本社会が失ったものと誇るべき点についてのアンケート」の集計結果が、新聞に掲載されました。

誇るべき点は、平和な国、技術力、経済的な豊かさ、健康・長寿が上位を占め、失ったものは、地域の絆、他人への思いやり、家族の絆、物を大切にすることなどが上位に挙げられています。この結果は、昭和を見直し、日本の今を、将来をしっかりと見つめ直し、改善していく指標を的確に示しているものです。今、多くの人が、「昭和の時代」に惹かれる理由が分かるものだと思います。

「生きる力」の育成が、教育の重要課題となっていますが、これも昭和三〇年代の人々が、逞しく生き生きと生活していたパワーを必要としている表れかと思っています。

きょういく

随想

心と体の就学相談

子どもたち一人ひとりの発達状況や障害の程度に応じた適切な教育内容など、個別に話し合う就学相談を行っています。

◎対象

平成19年度に新入学・入園予定の児童・生徒の保護者

◎相談日時

平成18年9月29日(金)まで
午前9時から午後5時まで

ただし、土・日・祝日は除きます。
※相談する場合はご連絡ください。
なお、この期間以外でも随時相談を受け付けます。

お問い合わせ

学校運営課学務係

☎ 5211-4284

千代田区教育広報誌「かけはし」では、皆様からの声をお待ちしています。ご意見・ご感想・ご要望等をお寄せください。

次号からはし76号は、9月下旬の発行予定です。

教育広報「かけはし」第七十五号
平成十八年七月十四日発行
編集発行/千代田区教育委員会
千代田区九段南一丁目6番11号
☎(ダイヤルイン)03(5211)4284